

## 資格取得志向に対応して「ピアヘルパー」認定

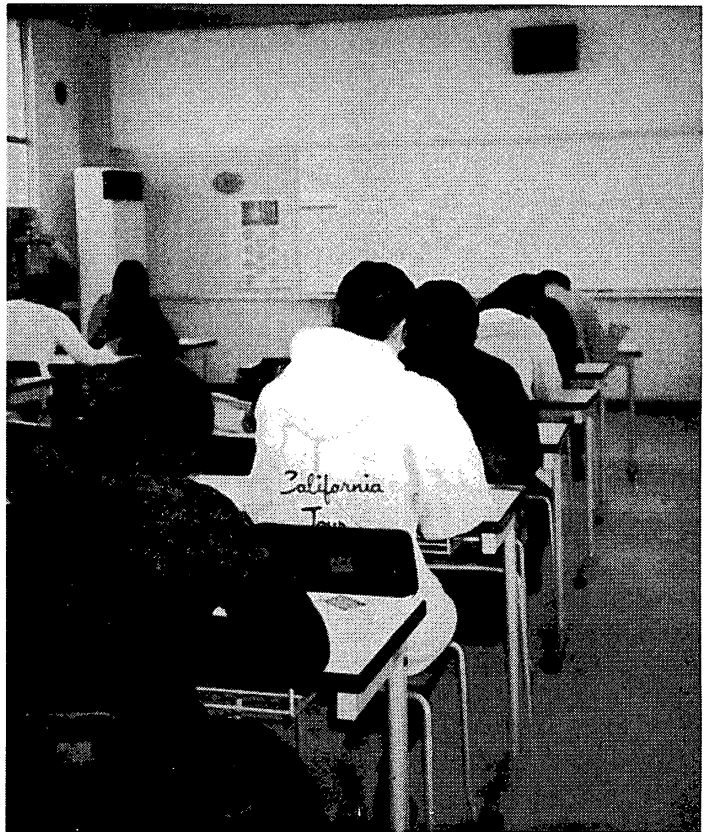
生活福祉科介護福祉専攻

田 岡 洋 子

生活福祉科には介護福祉専攻と食物栄養専攻がある。介護福祉専攻では国家資格である介護福祉士を課程認定できる専攻である。その資格以外に、ピアヘルパーの資格取得ができるようになった。この資格は「心の専門援助者をめざすためのパスポート」として生まれた。特定非営利活動（NPO）法人 日本教育カウンセラー協会の認定資格である。

「ピアヘルパー」とは Peer仲間 Helper助ける人、年上・年下を問わず、対等な立場で人間なら誰でも出会う問題の相談相手になる、仲間を助ける人。という意味で、6つの領域で活用できる、それは①学業 ②進路 ③友人 ④グループ ⑤関係修復 ⑥心理分野である。資格を生かす分野としては教育や福祉関係の仕事（言語・非言語コミュニケーションをとる）で、大いにこの手法や、技法などを生かすことでスバラシイ介護福祉士になれると信じます。自分自身にとってもメリットがあり、人にサービスすることは人をケアする（人に依存されること）依存されると自分自身が自立することになり、介護の大切な気づき、心配りなどができる。

昨年度から始められたこのピアヘルパー資格認定は加盟校でなければ認定されず、全国的にもまだまだ少ないのが現状である。加盟校での心理講義（3科目6単位）に特別講義を加え、実技演習をすることが条件で、介護福祉専攻では「福祉心理学」2単位「老人・障害者の心理」4単位が必須科目としてある。それに特別授業を今年度は90分を18回した。それ以外にも実地研修としてオープンキャンパスのキャンパススタッフとして学内を案内し、受験志望者への



受理：2003年1月16日（成美学会）

アドバイスなどをした経験後、そのレポートには「学内でのピアヘルパーの演習では顔見知り同志で気楽だが、初対面の人や年齢の異なる人へのヘルプに良い経験になった」と、相手を観察し、その人が望んでいることについて答えたり、敬語を上手く使えた。など書かれていた。体験を文章化する練習にもなり、指定ハンドブックのテキストを使用しての試験対策後、12月15日（日）の試験指定日にはマークシート選択技法と記述式試験を2時間受けた。この資格の取得希望者は21名あり、1名が入院のため20名の受験となった。当日は第3段階目の施設実習後の1週間目で、初めての試験に担当教員の緊張は大変なものであった。写真は受験風景である。